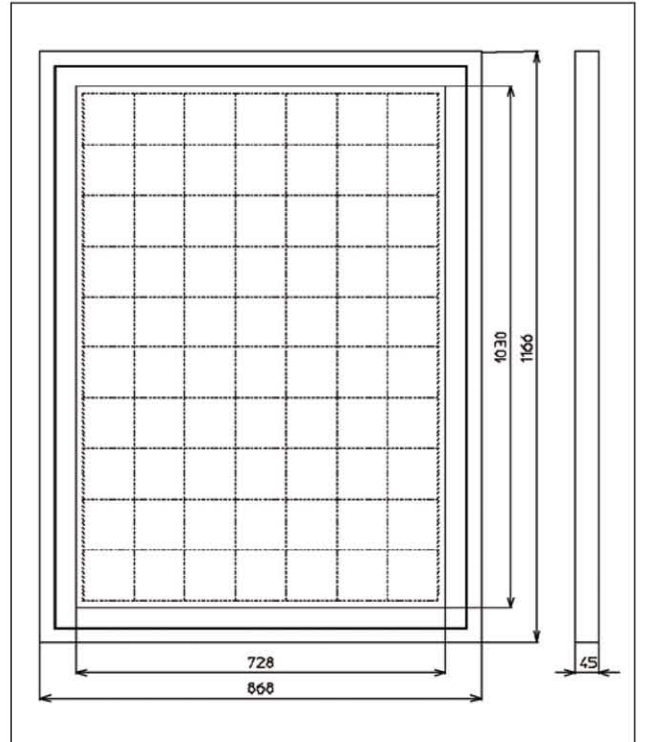




# フラッタ式広告枠



## ■ 概要

当社でバックライト掲示器は、従来の蛍光灯を光源とするバックライトと、0.1WクラスのLEDを分散配置したLED分散配置式バックライトの2種類があります。

『フラッタ式LEDバックライト掲示器』は、1WクラスのパワーLEDを集中配置したLED式バックライトで、光源の光を表示面に均一に拡散させる光拡散技術を使った事を特長としています。また、従来品と比べ省エネルギー化を図ることが出来ます。

## ■ 特長

- パワーLEDを使用し、LEDピッチを100mmと大きくし、光源を集約配置する事で、光源のランプ効率を向上させた。
- 光拡散技術を採用し、LED直下照射方式による光の下方への浸透深さの向上と表示面への輝度均一化を図っている。
- LEDを直列接続とし、定電流電源装置による点灯とし、従来のLED回路の電流制御抵抗を省略（抵抗損失を削減）、省エネ化とした。
- LEDは寿命が長く、保守の軽減が図れます。
- 入力電源電圧に捉われない電圧フリーの電源装置を採用しています。

## ■ B1サイズ広告枠の外観写真

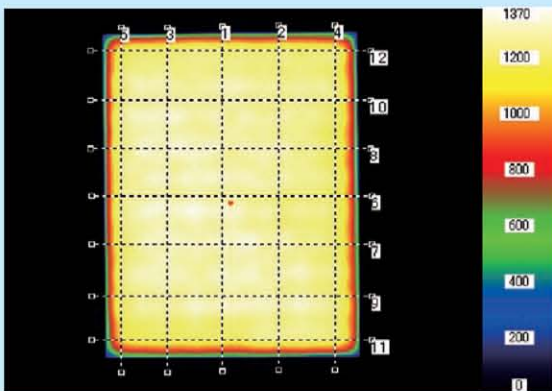


光拡散方式

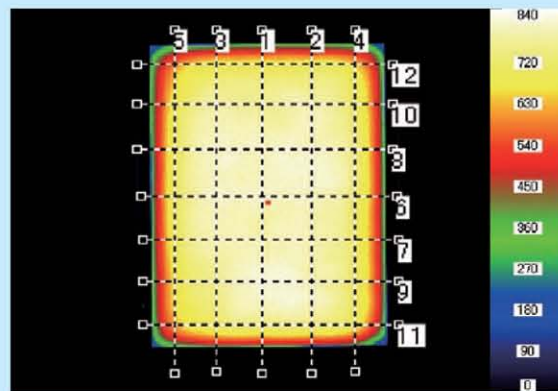


バックライト方式 (従来品)

## ■ 輝度分布測定結果 (輝度計カメラによる輝度分布測定)

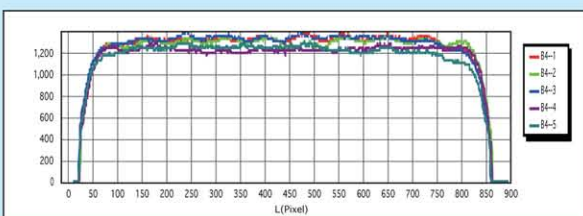
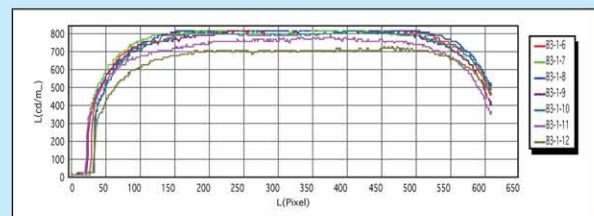
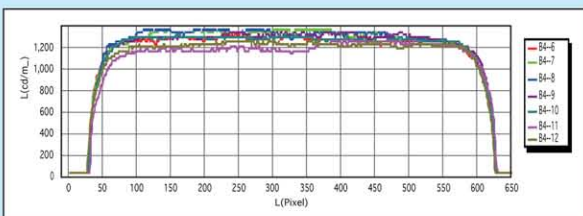


光拡散方式

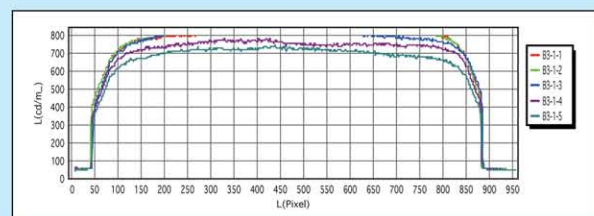


バックライト方式 (従来品)

## ■ 表示面の輝度分布測定



光拡散方式



バックライト方式 (従来品)

## ■ 従来品との比較表

	タイプ	光拡散方式	バックライト方式 (従来品)
形状	製品寸法	1166x868x45 有効表示面 (1030x728)	1166x868x70 有効表示面 (1030x728)
	表示板 (樹脂板種類)	乳半	乳半
	樹脂板透過率	59%	59%
	発光体	白色LED	白色LED
仕様	発光体個数	1Wx70個	0.1Wx792個
	電圧仕様	85~264V	85~264V
電気	寿命	40,000時間 拘束維持率 70%	40,000時間 拘束維持率 70%
	交換サイクル 365日×20時間= 7,300時間	約5年毎	約5年毎
	省エネに対する コメント	バックライト方式に比べるとさらに省エネ効果はあり明るさも蛍光灯以上である	蛍光灯に比べると明るさは足りないが省エネ効果はある
	灯具及びその他に 対するコメント	環境を考慮した白色LEDを使用している。まだ高価であるがメンテナンス費を低減することができる。	環境を考慮した白色LEDを使用している。メンテナンス費を低減することができる。
	消費電力	48W	86W
	平均輝度 (cd/m <sup>2</sup> )	1120cd/m <sup>2</sup>	720cd/m <sup>2</sup>

※ 蛍光灯式の場合

発光体 40W×3本  
 寿命 12,000時間  
 交換周期 約1.5年  
 消費電力 133W  
 平均輝度 1000(cd/m<sup>2</sup>)

## ■ 材質

- 本体 扉 ステンレス
- 表示板 透明・乳半樹脂板 3t

## ■ 電気的特性

- 定格入力電圧 AC100～240V
- 高調波電流規制 C61000-3-2クラスC準拠
- EMC 電気用品安全法準拠
- 使用温湿度範囲 0～45℃ 20～90% (結露無きこと)

## ■ 電氣的期待寿命

- 白色LED 40,000時間 (光束維持率70%)
- 定電流電源装置 40,000時間 (コンデンサ寿命)

## ■ 推奨動作条件

- 定格入力条件 AC100～242V
- 周波数 50/60 Hz
- 使用電圧範囲 AC94～259 V以内
- 動作使用温度 5～35℃
- 使用湿度範囲 20～90% (結露無きこと)



本 社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目10番10号  
日本生命南大塚ビル3F  
TEL.03-5958-8500 (代) FAX.03-5958-8518  
JR TEL.054-3072・3073 JR FAX.054-3077

製 造 本 部 〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘3丁目9番地1号  
(多摩境テクノセンター) TEL.042-798-4050 (代) FAX.042-798-4057  
JR TEL.053-7503 JR FAX.053-7502

支 店 札幌・仙台・名古屋・大阪

問い合わせ先 営業技術部 TEL.03-5958-8505



JQA-2346 JQA-EM6049  
本社・保全工事部  
多摩境テクノセンター